



国際音楽コンクール世界連盟会員

第4回高松国際ピアノコンクール

参加要項

日本語

ともに夢をともに感動を

2006年に始まった高松国際ピアノコンクール
それは、世界の一流音楽家とのふれあいの場を創る
芸術イベントとして、
それは、若者が自己の成長に向けた“夢”と“目標”を育む
音楽コンクールとして、
それは、香川に新しい音楽文化の構築を目指した
国際イベントとして、
世界の至宝、瀬戸内海に面したサンポートホール高松を舞台に
繰り広げます。

●世界に羽ばたくステージを提供

本コンクール優勝者には、欧米および日本のオーケストラとの共演や
リサイタル等、世界に認められる音楽家としての活躍をサポートします。
※詳細は、コンクールホームページで発表します。



コンクール概要

名 称	第4回高松国際ピアノコンクール(略称:TIPC)		
部 門	ピアノ		
開催日程	2018年 3月12日(月)	出場者説明会・抽選	
	3月12日(月)~13日(火)	ピアノ選択	2日間
	3月14日(水)~16日(金)	第1次審査	3日間
	3月17日(土)~18日(日)	第2次審査	2日間
	3月20日(火)~21日(水・祝)	第3次審査	2日間
	3月24日(土)	本選	
	3月25日(日)	結果発表・表彰式・入賞者演奏会	
会 場	サンポートホール高松 大ホール 〒760-0019 香川県高松市サンポート2番1号 TEL: 087-825-5000 http://www.sunport-hall.jp		
主 催	高松国際ピアノコンクール組織委員会		
共 催	公益財団法人高松市文化芸術財団		
後 援	外務省・文化庁・香川県・高松市・ 香川県教育委員会・高松市教育委員会		



審査について

審査員長	岩崎 淑 [ピアニスト/日本]
副審査員長	青柳 晋 [ピアニスト/日本]
審査員	ヴィンチェンツォ・パルツァーニ [ピアニスト/イタリア] ダン・タイ・ソン [ピアニスト/ベトナム] クラウス・ヘルヴィッツ [ピアニスト/ドイツ] 池辺 晋一郎 [作曲家/日本] 神谷 郁代 [ピアニスト/日本] キム デジン [ピアニスト/韓国] ピオトル・パレチニ [ピアニスト/ポーランド] ミハイル・ヴォスクレセンスキー [ピアニスト/ロシア] ※審査員については、姓のアルファベット順・敬称略

審査構成	コンクールは、予備審査、予選(第1次審査~第3次審査)、本選の各審査段階で構成する。 予 備 審 査 は 演 奏 を 収 録 し た D V D ファ イ ル (DVD-video形式)により、審査する。 予選及び本選は一般に公開される。
------	---

審 査	① 予備審査の結果はコンクールホームページに公開される。 ② 各出場者に対する評価は一般に公開される。 ③ 審査員と出場者は、第1次審査から本選終了まで、接触してはならない。ただし、出場者が通過できなかった審査段階以降については、この限りではない。 ④ 審査員会の決定にかかる異議ないし不服申し立ては、受け付けない。
-----	---

楽 器	主催者は、予選及び本選で使用するピアノを用意する。
-----	---------------------------

公式ピアノ	ベーゼンドルファー、カワイ、スタインウェイ、ヤマハ ※公式ピアノは、ピアノのアルファベット順
-------	---



出場申込について

応募資格 1983年1月1日～2003年1月1日までに出生した者

応募期間 2017年4月1日(土)～9月20日(水) 当日消印有効
※日本国内からの送付の場合は書留郵便、海外からの送付の場合はEMS等の国際スピード郵便で送付すること。

応募方法 オンラインまたは郵送のいずれかの方法で申し込む。

【1】オンラインでの申込方法

公式サイト(<http://www.tipc.jp>)上の「エントリーシート」に必要な事項を入力し、次の①～③のデータをアップロードすること。

- ① 予備審査課題曲の演奏を収録したDVDファイル
※DVD-video形式で作成したDVD内のVIDEO_TSフォルダを圧縮したファイルであること。
- ② 申込日から6箇月以内に撮影したカラー写真
(上半身／解像度300dpi以上推奨)
※コンクールプログラム、その他広報媒体等掲載用に使用する。
- ③ パスポート等の氏名・国籍・生年月日が記載された公的書類のPDFまたはJPGファイル
※エントリーシートの作成方法等は、公式サイトにて確認のこと。
※データは募集期間内であれば入力事項の修正可能。
(2017年4月1日～9月20日)

【2】郵送での申込方法

次の①～④の書類及びDVD(DVD-video形式)を、2017年9月20日までにコンクール事務局に送付すること。

- ① 出場申込書
※公式サイト(<http://www.tipc.jp>)からダウンロード可(PDF、他)
- ② 予備審査課題曲の演奏を収録したDVD
※DVD-video形式で作成したDVDであること。撮影・収録方法は【演奏の撮影及び収録について】を厳守すること。
- ③ 申込日から6箇月以内に撮影したカラー写真2枚
(※4×5cm／上半身／解像度300dpi以上推奨／裏面に氏名・撮影日を記入すること)
※同じ写真を2枚準備し、1枚は出場申込書に貼付し、1枚は送付すること。
※送付の1枚はプログラム、その他広報媒体等掲載用に使用する。
- ④ パスポート等の氏名・国籍・生年月日が記載された公的書類(コピー可)
[送付先] 高松国際ピアノコンクール事務局
〒760-0050 香川県高松市亀井町4番地12
セントラルビル別館3階
TEL 087-812-5583 FAX 087-812-5584

注意事項

- 期日を過ぎた消印の申込書は受け付けない。
- 申込書類に不備がある場合や記入漏れがある場合、予備審査の対象とならない。
- オンラインの場合はエントリー後1週間以内、郵送の場合は投函後10日以内に受理メールが届かなかった場合、事務局に連絡すること。
- 申込書類に課題曲を記入する際は、作曲者名、曲名、調、作品番号、楽章等、必要な項目を正確に記載すること。
- 申込書類およびDVDは返却しない。



予備審査について

コンクールの出場者を決定するため、参加者から提出された書類及び(DVD-video形式)により予備審査を行う。

予備審査 課題曲

下記の(A)、(B)の中から各1曲、計2曲を演奏したものを撮影し、1枚のDVDに収録すること。
(A)ショパン 練習曲作品10または作品25より1曲
(B)リスト、スクリャーピン、ラフマニノフ、ドビュッシー、ストラヴィンスキー、プロコフィエフの練習曲より1曲

【演奏の撮影及び収録について】

- 2016年10月1日以降に収録した演奏であること。
- カメラは固定し、顔と手を同時に撮影すること。
- 1曲の演奏はカメラを止めずに収録し、郵送で申し込む場合は、2曲を1枚のDVD-Rに収録すること。
- 氏名、曲名が表示されるなど再編集・加工したものは、審査対象としない。
- 課題曲以外の演奏が収録されているものは、審査対象としない。
- 審査はパソコンを使用して行うので、DVDへの記録はなるべくパソコンで行う。DVDレコーダーで記録する場合は、必ずファイナライズしたDVDを送付すること。作成したDVDは、パソコンで再生可能かどうかを確認してから送付すること。
- DVDには、氏名、曲名、録音日、録音場所を明記すること。録音日の違うものを提出する場合は、(A)、(B)の録音日・録音場所を明記すること。
- オンラインで申し込む場合は、VIDEO_TSフォルダを圧縮したファイルをアップロードすること。

※DVD-R以外の記録媒体で送付されたものは受付できないので、注意すること。

※日本のDVDのシステムはNTSCです。

※DVD-video形式とは、DVDフォーラムで制定された規格で、一般的DVDプレーヤーやパソコンで再生可能な録画方式のこと。この録画方式の場合、パソコン等でファイルの中身を見ると、VIDEO_TS、AUDIO_TSといったフォルダがあり、VIDEO_TSフォルダには、***.IFOや***.VOBといったファイルが入っている。

※予備審査から審査は始まっています。本番と同じ心構えで撮影にのぞんでください。

結果通知

2017年12月5日(火)までに応募者全員に発送する。
※予備審査通過者には、「コンクール出場に関する同意書」及び委嘱作品楽譜、コンクール詳細を同封する。



課題曲について

コンクールは、予選(第1次審査～第3次審査)及び本選からなる。
審査は課題曲の中から出場者が選択した楽曲を演奏することにより行う。

- 第1次
審 査**
- 下記の(A)、(B)、(C)の順に演奏する。演奏時間は合計20分以上25分以内とし、繰り返しは自由とする。
- (A) バッハ 平均律I、II巻より1曲
- (B) ショパン 練習曲作品10または作品25より1曲
※予備審査曲と重複してもよい
- (C) 1900年以降に作曲された作品
※予備審査曲と重複してはいけない

- 第2次
審 査**
- 下記の(A)、(B)の順に演奏する。演奏時間は合計で45分以内とする。
- (A) ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンのソナタより1曲を
選び全楽章
- (B) シューマン、ブラームス、シューベルト、メンデルスゾーン、
ショパン、リストより任意の楽曲
※複数の作曲家も可
※ソナタの場合は全楽章

- 第3次
審 査**
- 下記の(A)、(B)、(C)の順に演奏する。
- (A) 次のモーツァルトの変奏曲のうち1曲を演奏する。ただし、繰り返しは自由とする。
- パイゼッロの「主に幸いあれ」による6つの変奏曲
ヘ長調 K. 398
 - グルックの「愚民が思うには」による10の変奏曲
ト長調 K. 455
 - アレグレットの主題による12の変奏曲 変ロ長調 K. 500
 - デュポールの主題による9つの変奏曲 二長調 K. 573
- (B) 本コンクール委嘱作品(5分程度の曲)を演奏する。
委嘱曲作曲家 小出 稚子
- (C) 下記のピアノ四重奏曲より1曲を選択し、事務局が指定する室内楽奏者と協演する。楽譜は、シューマンとブラームスはヘンレ版、フォーレはインターナショナル・ミュージック社版を使用し、繰り返しを行うこと。
- シューマン：四重奏曲 変ホ長調 Op. 47
 - ブラームス：四重奏曲 第1番 ト短調 Op. 25
 - フォーレ：四重奏曲 第1番 ハ短調 Op. 15

<室内楽奏者>

ヴァイオリン 玉井 菜採 川久保 賜紀
ヴィオラ 大野 かおる 松実 健太
チェロ 河野 文昭 長谷川 陽子

本 選

下記のピアノ協奏曲のうち任意の1曲を選択し、
オーケストラと共演する。

オーケストラ 瀬戸フィルハーモニー交響楽団
指 揮 大友 直人

- (A) ベートーヴェン _____
協奏曲 第3番 ハ短調 Op. 37
協奏曲 第4番 ト長調 Op. 58
協奏曲 第5番 変ホ長調「皇帝」Op. 73
- (B) ショパン _____
協奏曲 第1番 ホ短調 Op. 11
協奏曲 第2番 ヘ短調 Op. 21
- (C) シューマン _____
協奏曲 イ短調 Op. 54
- (D) リスト _____
協奏曲 第1番 変ホ長調
協奏曲 第2番 イ長調
- (E) ブラームス _____
協奏曲 第1番 二短調 Op. 15
- (F) サン＝サーンス _____
協奏曲 第2番 ト短調 Op. 22
協奏曲 第4番 ハ短調 Op. 44
協奏曲 第5番 ヘ長調 Op. 103
- (G) チャイコフスキー _____
協奏曲 第1番 変ロ短調 Op. 23
- (H) グリーグ _____
協奏曲 イ短調 Op. 16
- (I) ラフマニノフ _____
協奏曲 第2番 ハ短調 Op. 18
協奏曲 第3番 二短調 Op. 30

**ファイナリスト
による演奏会** 本選出場者は、表彰式会場においてファイナリスト
による演奏会に出演すること。ただし、この演奏会
の出演料を支払わない。

※委嘱曲の楽譜は、予備審査通過決定通知と一緒に出場を承認された者に
郵送する。

※委嘱曲は、コンクール前に作品を公開することを禁じる。

※出場者は、コンクールにかかるもののほか、コンクール期間中、いかなる演奏
活動も行ってはならない。ただし、出場者が通過できなかった審査段階以降
については、この限りではない。



演奏について

演奏に関する注意

- ① 課題曲の演奏は、第3次審査の委嘱曲及びピアノ四重奏曲を除き、すべて暗譜で行うこと。
- ② 演奏はすべて公開される。
- ③ 演奏審査において、時間の都合により、楽曲の一部を省略させることがある。

曲目変更について

- ① オンライン申込の場合は、ウェブサイトで変更を届け出ること。
- ② 郵送申し込みの場合は、FAXまたはメールで変更を届け出ること。
- ③ いずれの場合も、2018年1月15日までにコンクール事務局に届け出し、承認されたものに限定。
(E-mail:jimukyoku04@tipc.jp または FAX: 087-812-5584)

演奏順

- ① 出演順は出場者説明会において出場者本人の抽選により決定する。抽選順は、音楽委員長によりアルファベットの抽選を行い決定する。
- ② 指定の順序通りに演奏できなかった場合、コンクール出場資格を失う。
- ③ ただし、本選に限り、プログラムの都合上、順番を変更する場合がある。

ピアノ選択

- ① 出場者は、事務局が定めるピアノを試弾し、演奏に使用するピアノを選択する機会が与えられる。
- ② 第1次審査、第2次審査、第3次審査の結果発表後1時間以内に使用するピアノを変更することを認める。
ただし、その際に試弾はできない。

練習用ピアノ

- コンクールの期間中において、コンクールの各審査段階の出場者に対し、主催者が無償で提供する練習時間は、次のとおりとする。
- ① 受付日は出場者本人の希望がある場合は、可能な限り練習会場を準備するが、会場の都合により、希望に添えない場合もある。
 - ② 出場者説明会の日からピアノを備えた部屋を1日につき4時間。第2次審査以降は、練習会場の都合により4時間以上。
 - ③ 第3次審査における事前の室内楽奏者との練習の機会は1回とし、原則として90分以内とする。また、本番前に、ゲネプロを行う。
 - ④ ファイナリストは、第3次審査翌日から本選審査終了日まで、事務局が指定する時間帯でピアノを備えた1部屋を使用して練習することができる。
 - ⑤ 本選における事前のオーケストラとの練習の機会は1回とし、原則として90分以内(指揮者との打合わせ時間を含む。)とする。



賞及び賞金

賞

第1位	3,000,000円
第2位	1,000,000円
第3位	500,000円
第4位	300,000円
第5位	200,000円

特別賞(前回実績)

- 委嘱作品演奏者賞
- 香川県知事賞
- 高松市長賞
- 公益財団法人松平公益会賞
- 公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー理事長賞

1位入賞者

副賞

- ① 日本及び海外でオーケストラとの共演
- ② 日本及び海外のホールでのリサイタル

※いずれの演奏会においても、出演料、交通費及び宿泊費は当組織委員会が負担する。出演料は日本円で100,000円

現在確定している優勝者のための演奏会

【オーケストラとの共演】

- 2018/9/9 第4回TIPC優勝者ガラコンサート(瀬戸フィルハーモニー交響楽団, サンポートホール高松大ホール, 香川県高松市, 日本)
- 2018/10 オルテニア・フィルハーモニー管弦楽団(クラヨバ, ルーマニア)
- 2019 ピアノタレント with Orchestra(ミラノ, イタリア)
- 時期未定 群馬交響楽団(群馬県高崎市, 日本)
- オーケストラ・アンサンブル金沢(石川県金沢市, 日本)

【ソロリサイタル】

- 2018 カワイサロンコンサートin 表参道(コンサートサロン「パウゼ」, 東京都・表参道, 日本)
- 2018 カワイサロンコンサートin 梅田(コンサートサロン「ジュエ」, 大阪府・梅田, 日本)
- 2018 ヤマハサロンコンサート(ヤマハ銀座コンサートサロン, 東京都・銀座, 日本)
- 2018 ピアノタレントフェスティバル(ミラノ・ロヴェレー・コモ, イタリア)
- 2018 第73回国際ショパン音楽祭(ポーランド)
- 2019 ピアノタレントフェスティバル(ローマ・ナポリ, イタリア)
- 時期未定 ペーゼンドルフアーサロンコンサート(ペーゼンドルフアー東京, 東京都・中野, 日本)
- ファツィオリホールコンサート(シビックセンターホール, 東京都・豊洲, 日本)

《参考》第3回高松国際ピアノコンクール 優勝者 ムン・ジョン 副賞ツアー

【オーケストラとのコンサート】

- 2014/8/31(日) 第3回高松国際ピアノコンクール優勝者 ムン・ジョン演奏会
(瀬戸フィル交響楽団, 指揮: 大友直人, サンポートホール高松大ホール, 香川県高松市, 日本)
- 2014/9/25(木) 第23回国際音楽祭 ヤングブラハ2014 ファイナルコンサート
(北チェコ・テプリツェフィルハーモニー管弦楽団, 指揮: Hermes HELFRICHT, ルドルフィヌム・ドヴォジャークホール, プラハ, チェコ)
- 2015/5/15(金) Piano Talents with Orchestra 2015 特別公演
(州立フィルハーモニー管弦楽団, 指揮: Ovidiu BALAN, リバティ館, ミラノ, イタリア)

【ソロリサイタル】

- 2014/7/31(木) ピアノリサイタル(ジュゼッパ・ヴェルディ音楽院, ミラノ, イタリア)
- 2014/8/2(土) ピアノリサイタル(ダティニ アカデミー コンサートホール, ローヴェレ, イタリア)
- 2014/8/5(火) ノクターンの夕べ(ショパン館 コンサートホール, ドウシニキ・ズドリイ, ポーランド)
- 2014/8/8(金) 第69回国際ショパン音楽祭(ショパン館 コンサートホール, ドウシニキ・ズドリイ, ポーランド)
- 2015/5/9(土) ピアノフェスティバル(ナポリ, イタリア)
- 2015/5/12(火) ピアノリサイタル(アントニオ・ベッローニ劇場, パラッシーナ, イタリア)



出場登録について

出場に関する同意書 事務局から送付した「コンクール出場に関する同意書」を2017年12月25日(日本時間 必着)までに事務局へ送付すること。

出場料 コンクール出場料として日本円で20,000円を2018年1月15日までに指定口座に振込むこと。期日までにコンクール出場料が支払われない場合は、コンクールへの出場を取り消すものとする。

振込指定口座

銀行・店舗：百十四銀行 本店
口座の種類：普通預金
口座番号：2776875
口座名義：高松国際ピアノコンクール組織委員会
もしくは
銀行・店舗：香川銀行 本店
口座の種類：普通預金
口座番号：3515953
口座名義：高松国際ピアノコンクール組織委員会

※振込手数料は、自己負担とする。
※コンクール出場料はいかなる理由があっても返還しない。

出場者登録 出場者はコンクール事務局より通知された出場者説明会までに受付を終了し、出場者説明会に出席することで登録を完了する。ただし、審査員長がやむを得ない事情があると認めたときは、この限りでない。

交通費支援 出場者の旅費は原則として出場者負担とする。ただし、下記に該当する者は、主催者が定める額を支援する。

【海外在住の出場者】

現在の居住地(外務省が定める)アジア地域の場合は、日本円で50,000円。その他の地域は、日本円で100,000円。

【海外留学中の日本在住の出場者】

上記基準の半額。

【日本在住の出場者】

交通費支援の対象とならない。

滞在費支援 出場者の滞在費については、開催日の3日前(2018年3月11日)から下記の期日まで、主催者が指定した宿泊施設に限り、主催者がその宿泊費のみを負担する。それ以外の滞在費(飲食費・通信費等)は全て出場者本人が負担する。

- 第1次審査出場者：第1次審査終了の翌朝まで
- 第2次審査出場者：第2次審査終了の翌朝まで
- 第3次審査出場者：第3次審査終了の翌朝まで
- 本選出場者：本選終了の翌々朝まで

※審査終了後のホームステイを希望する場合は、ホストファミリーを紹介する。



その他

査証取得 日本への入国査証が必要な場合は、出場者本人が本人の責任で査証を取得すること。
査証取得のため招へい状等を必要とする場合は、出場同意書の提出の際にあわせてコンクール事務局に申請すること。

保 険 出場者は、本国または居住国を離れ帰国するまでの期間について、自身の健康、傷害に関する保険及び手荷物、その他の所持物品に関する事故、火災、盗難、破損に関する保険が必要と思われる場合は、出場者本人が加入すること。

隣接著作権 コンクールで行われるすべての演奏及び開会セレモニー、表彰式、コンクール終了後に行う関連演奏会等に関し、出場者が有する放送権、上演権、録音権、録画権、出版権、肖像権等の諸権利は、主催者である高松国際ピアノコンクール組織委員会に帰属する。

個人情報の保護 本コンクールで収集した応募者及び出場者の個人情報、日本の法律に基づき主催者が管理し、本コンクールの運営のためにのみ使用する。

日本の法律への準拠 ①入賞者の賞金は、日本の法律に基づく税金を含むものとする。
②本参加要項に関して発生する問題は、日本の法律に準拠して解決される。

その他 本参加要項は、やむをえない事情により変更することがある。



組織委員会

顧問
顧問
顧問
会長

浜田 恵造
大西 秀人
綾田 修作
竹崎 克彦

香川県知事
高松市長
前組織委員会会長
(株)百十四銀行 取締役相談役

統括委員会

会長 竹崎 克彦
委員 中條 博之
委員 佃 昌道
委員 常盤 百樹
委員 灘波 博司
委員 広門 治
委員 松田 清宏
委員 村山 昇作

(株)百十四銀行 取締役相談役
香川証券(株) 代表取締役社長
高松大学・高松短期大学 学長
四国電力(株) 相談役
香川トヨペット(株) 代表取締役社長
(株)NTTドコモ四国支社 執行役員四国支社長
四国旅客鉄道(株) 取締役会長
(株)百十四銀行 顧問

審査員団

審査員長 岩崎 淑
副審査員長 青柳 晋
審査員 池辺 晋一郎
審査員 神谷 郁代

ピアニスト／日本
ピアニスト／日本
作曲家／日本
ピアニスト／日本

本選審査委員会

審査員長 岩崎 淑
副審査員長 青柳 晋
審査員 ヴィンチェンツォ・パルツァーニ
審査員 ダン・タイ・ソン
審査員 クラウス・ヘルヴィツヒ
審査員 池辺 晋一郎
審査員 神谷 郁代
審査員 キム デジン
審査員 ピオトル・パレチニ
審査員 ミハイル・ヴォスクレセンスキー

ピアニスト／日本
ピアニスト／日本
ピアニスト／イタリア
ピアニスト／ベトナム
ピアニスト／ドイツ
作曲家／日本
ピアニスト／日本
ピアニスト／韓国
ピアニスト／ポーランド
ピアニスト／ロシア

運営委員会

委員長 佃 昌道

高松大学・高松短期大学 学長

音楽委員会

委員長 竹内 肇
顧問 鎌田 郁雄
顧問 大西 晏

香川音楽連盟 理事長
公益社団法人瀬戸フィルハーモニー交響楽団 業務執行役員
高松交響楽団 会長

事務局

事務局長 佃 昌道
事務局次長 佐々木 啓隆

高松大学・高松短期大学 学長

監事

生駒 学

生駒学税理士事務所 所長

(敬称略、組織委員会については50音順)

2016年4月1日現在